

【無料プレゼント】現場で必須！介護専門用語50選（中級編）一覧シート

こんにちは！介護福祉士のやなぎです。

この記事で学んだ中級レベルの専門用語50語を、印刷して使える一覧シートにまとめました。デスクの横やバインダーに挟んで、日々の学習にお役立てください。

医療・看護連携で使う言葉（10選）

用語（よみがな）	意味
喀痰（かくたん）	気道から出る「たん」のこと。
経管栄養（けいかんえいよう）	口から食事ができない場合に、鼻や胃に繋いだチューブで栄養を摂ること。
誤嚥性肺炎（ごえんせいはいえん）	食べ物や唾液が誤って気管に入り、肺で炎症が起きること。
掻痒感（そうようかん）	皮膚の「かゆみ」のこと。
発赤（ほっせき）	皮膚が赤くなること。褥瘡の初期症状など。
血糖値（けっとうち）	血液中のブドウ糖の濃度のこと。
インスリン（いんすりん）	血糖値を下げるホルモン。糖尿病の治療で注射薬として使う。
バルーンカテーテル（ばるーんかてーてる）	尿道を通り膀胱に留置し、自動的に尿を排出させるための管。
ストーマ（人工肛門）（すとーま）	手術で腹部に造設された便の排泄口。
頓服薬（とんぷくやく）	症状がある時だけ、臨時で服用する薬（痛み止めなど）。

リハビリ・機能訓練で使う言葉（10選）

用語（よみがな）	意味
廃用症候群（はいようしょうこうぐん）	過度に安静にすることで、心身の機能が低下すること。
ROM（あーるおーえむ）	Range of Motionの略。関節の動く範囲（関節可動域）。

用語（よみがな）	意味
IADL （あいえーでいーえる）	手段的日常生活動作。ADLより複雑な動作（買い物、電話、服薬管理など）。
PT/OT/ST （ピーていー/おーていー/えすていー）	PT:理学療法士、OT:作業療法士、ST:言語聴覚士。リハビリの専門職。
残存機能 （ざんそんきのう）	障がいが残っても、まだ保たれている心身の機能。
嚥下体操 （えんげたいそう）	飲み込む力を鍛えるための、口や舌の体操。
機能訓練 （きのうくんれん）	日常生活に必要な心身の機能を維持・回復させるための訓練。
歩行器 （ほこうき）	歩行を補助するための福祉用具。体を囲むタイプのもの。
自助具 （じじょぐ）	障がいがあっても自分で動作しやすくするための道具（柄の長いスプーン等）。
片麻痺 （かたまひ/へんまひ）	体の左右どちらか半分に麻痺がある状態。

認知症ケアの応用で使う言葉（10選）

用語（よみがな）	意味
中核症状 （ちゅうかくしょうじょう）	脳の細胞が壊れることで直接起こる症状（記憶障害、見当識障害など）。
周辺症状 （しゅうへんしょうじょう）	中核症状に本人の性格や環境が影響して起こる症状。BPSDと同じ。
ユマニチュード （ゆまにちゅーど）	「見る・話す・触れる・立つ」を基本にしたフランス発祥のケア技法。
バリデーション （ばりでーしょん）	認知症の人の言動を、嘘や間違いと否定せず、感情に寄り添い受け入れる手法。
回想法 （かいそうほう）	昔の写真や音楽を使い、過去の楽しかった経験を語ってもらう心理療法。
徘徊 （はいかい）	明確な目的がなく、歩き回ってしまうこと。
弄便 （ろうべん）	便をいじってしまう行為。
帰宅願望 （きたくがんばん）	施設などを「自分の家ではない」と感じ、「家に帰りたい」と訴えること。

用語（よみがな）	意味
せん妄（せんもう）	急性の意識障害。幻覚を見たり、興奮したりする。体調不良時などに出やすい。
生活歴（せいかつれき）	その人が生まれてから現在まで、どのような人生を送ってきたかの歴史。

制度・書類で使う言葉（10選）

用語（よみがな）	意味
要介護認定（ようかいごにんてい）	介護保険サービスを受けるために必要な、介護の必要度合いの認定。
ケアマネジャー（けあまねじゃー）	介護の専門家。ケアプランの作成やサービスの調整を行う。 **介護支援専門員** 。
サービス担当者会議（さーびすたんとうしゃかいぎ）	利用者・家族と各担当者が集まり、ケアプランについて話し合う会議。
身体拘束（しんたいこうそく）	利用者本人の体を縛ったり、部屋に閉じ込めたりして行動を制限すること。原則禁止。
虐待防止（ぎゃくたいぼうし）	高齢者への虐待を防ぐための取り組み。
個人情報保護（こじんじょうほうほご）	利用者さんの氏名や病歴など、プライベートな情報を守ること。
主治医意見書（しゅじいけんしょ）	要介護認定の審査で使われる、主治医が書いた診断書。
短期目標/長期目標（たんきもくひょう/ちょうきもくひょう）	ケアプランに記載される、達成を目指すゴール。
インフォームド・コンセント（いんふおーむどこんせんと）	十分な説明を受け、納得した上での同意。
守秘義務（しゅひぎむ）	仕事で知り得た個人の情報を、外部に漏らしてはいけないという義務。

看取り・ターミナルケアで使う言葉（10選）

用語（よみがな）	意味
看取り（みとり）	人生の最期を、自然な形で迎えられるように支援すること。
ターミナルケア（たーみななるけあ）	終末期医療・看護。延命目的ではなく、苦痛緩和などを中心に行うケア。
エンゼルケア（えんぜるけあ）	亡くなられた後に行う、体の清拭や着替え、化粧などの死後処置。
疼痛緩和（とうつうかんわ）	がんなどによる身体的な痛みを、医療用麻薬などを使って和らげること。
グリーフケア（ぐりーふけあ）	大切な人を亡くした家族など、遺族の悲しみに寄り添い支援すること。
リビング・ウィル（りびんぐういる）	生前の意思表示。人生の最期にどのような医療を受けたいか等を書面で示すこと。
D.N.A.R（でいーえぬえーあーる）	Do Not Attempt Resuscitationの略。心肺蘇生措置を行わないという意思表示。
清拭（せいしき）	入浴ができない場合に、蒸しタオルなどで体を拭いて清潔を保つこと。
臨終（りんじゅう）	死に際、亡くなる間際のこと。
デスカンファレンス（ですかんふあれんす）	亡くなられた利用者さんのケアを、スタッフで振り返る話し合い。

ブログ「介護とITで現場をラクにするハック」

運営者：やなぎ